

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/08/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

安値更新も明確な方向性を打ち出せず

NY原油先物相場は、1バレル=90ドルの節目を挟んで揉み合う展開になった。需要不安の織り込みから8月16日には85.73ドルまで下落し、1月26日以来の安値を更新した。イラン核協議の進展に対する警戒感もネガティブ。しかし、その後は米原油、ガソリン在庫の減少を手掛かりに安値修正の動きが強まり、結果的に明確な方向性を打ち出せていない。

根強い需要不安から下値切り下げ傾向は維持されている。7月の中国経済指標が軒並み下振れしたこともあり、世界経済の減速による需要の悪化懸念は根強い。一方で、米原油在庫水準には大きな動きがみられず、ガソリン在庫は2週連続の減少で今年最低を更新している。ガソリン在庫に関しては、価格低下で需要回復が進んでいる兆候が見られることも、ポジティブ材料視されている。在庫環境に対する原油相場の下げ過ぎが意識される中、90ドル水準で売買が交錯した。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (8月12日時点) は、原油が前週比706万バレル減、ガソリンが464万バレル減、石油精製品が77万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

売買が交錯する展開が続き易い、イラン核協議には要注意

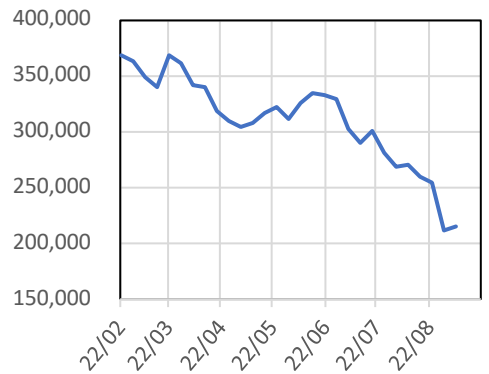
需要不安と供給不安が交錯しており、90ドル絡みの展開が維持され易い。世界経済の減速懸念は根強く、下値切り下げのリスクは完全に払しょくできていない。特に為替がドル高に振れると、85ドル水準を試すリスクは残されている。一方で供給サイドのリスクも再評価されており、90ドル割れから更に大きく売り込むことに対する警戒感もみられる。このまま現行価格水準で方向性を探る展開が続こう。

イラン核協議に進展がみられる。欧州連合（EU）の「最終文書」に対してイランは8月15日に回答を行い、米国とEUが対応を協議している。どのような回答を行ったのか詳細は明らかにされていないが、仮にイラン核合意の立て直しが現実化すると、イラン産原油の国際市場に対する供給増加の思惑が原油相場を大きく下押しするリスクがある。

需要サイドでは、8月25～27日にジャクソンホールで行われる経済フォーラムが注目される。ここで世界経済の減速、主要国の積極的な利上げ対応に対する警戒感が高まると、改めて需要不安を織り込む形で一段安を迫られる可能性がある。月末に向けて、経済指標の下振れにも注意が求められる。

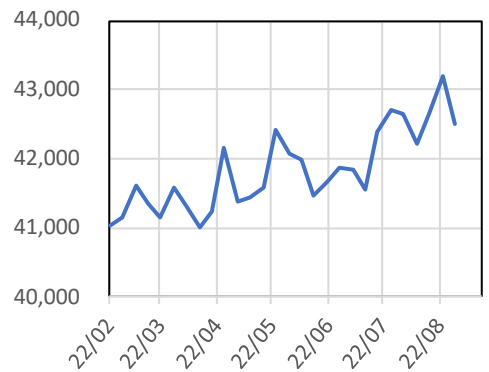
一方、米原油やガソリン在庫の減少傾向が続くと、改めて安値修正が進み易くなる。特にガソリン在庫の大幅な取り崩しがみられると、95ドル水準までリバウンドする可能性は想定しておきたい。また、ロシアが改めて「ノルドストリーム1」経由の欧州向け天然ガス供給を8月31日～9月3日まで停止する予定になっている。天然ガス市場の混乱が加速すると、原油相場もつれ高する可能性がある。特に欧州天然ガス市場の動向にも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



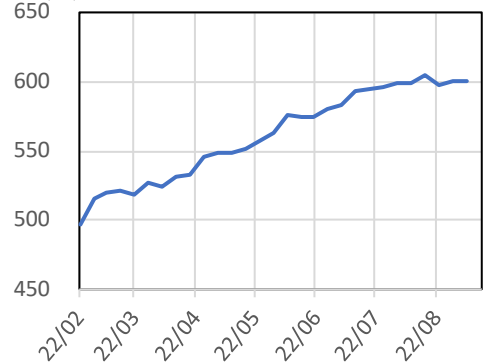
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

